

## 「ふるさと越後大使」

Jネット副会長 松川太賀雄（稲田出身）

私たちのJネットは「ふるさと上越」の応援団として八年目を迎えました。今回、上越市の豊かな自然、歴史や文化、そして産業（観光、農業、工業…）、スポーツ、まちづくり等を、今までにも増して広くPRして頂ける方を募り、Jネット「ふるさと越後大使」をお願いすることにしました。そして、総会では申込みがあった四十五名もの多数の方に、Jネット「ふるさと越後大使」の名刺を会長から渡していただき、大使のお仕事をお願いしました。

木浦市長からJネット「ふるさと越後大使」へのメッセージがあり、名刺の裏面に印刷されています。

ここに名刺の表と裏を入れます。

総会では和久井理事から「Jネット」ふるさと越後大使」の名称は、上越市には



Jネットふるさと越後大使  
越後 太郎

上越市は、奈良時代に越後国府が置かれ、室町時代には越後の長門上杉藩領が治まり、その後、越後高田藩の城下町として長い歴史を誇っています。日本三大城郭の高田城、日本酒を元気に造り出し、量産の越後が産に産れる越後の越後守野、そして一曲の越後守と應永の御門の御守りやのまじい自然に育まれた、人情味豊かな土地です。私たちは、高田道場や御神機、越上酒造の歴史などを伝える一冊、多くの人が読める新刊、注みたくなる新づくりを企画しています。この上越の素晴らしさを全国の皆様にお伝えたくて、Jネット委員がふるさと越後大使」をお願いしました。どうぞ、よろしくお問い合わせください。

上越市長 木浦 正幸

お問い合わせ先 Jネット事務局  
http://www.city.etsuonline.jp

奈良時代に越後国府が置かれ、そして、謙信公が越後の統一を果たしたことに由来していることの説明がありました。

また、会員の方は事実上「ふるさと越後大使」ですが、今回名刺を持って頂いた方には、今まで以上に上越のPRなどをお願いしたいことを、具体的にユーマーまじりで本音を話されました。

その一部を紹介いたします。  
Jネットの総会には支障のない限り誘い合わせて出席すること。

・年間に一度以上、上越を訪れて出来るだけ一泊すること。

・結婚式など、人前でスピーチをする機会には「越後」「上越」「謙信公」などのキーワードを必ず、ひとつ以上は入れること。

・上越の産品を常に愛用し、最低二品は常時家庭に置くこと。

・年間に上越の産品を二品以上、プレゼントすること。

・年間三〇枚以上、名刺を配って必ず上越の良さをPRすること。

・一泊二日の上越旅行のプランを二案以上、他所の人に提示できること。

・上越の朝市開催日を暗誦していること。(二・七、三・八、四・九)

・上越の酒蔵が出している酒のブランドを三つ以上言えること。

・上越の代表的な産物を五品以上、他所の人に勧められること。

・年間必ず一名以上の新会員を誘って入会させること。

・年間一つ以上、上越のイベントに参加すること。

・部屋に一枚以上、上越の写真または絵を飾ること。

・休日の朝、三秒間だけ、心に残る上越の風景を想いだすこと。

・年間に一度以上はJネットサロンに参加すること。

これらは決してふるさと越後大使の資格条件を言い当てている訳ではありません。一部でも心に留めていただき、上越の応援を色々な出会いや場面で積極的に展開していただければと期待しております。

皆さんと一緒に上越の応援をして行きましょう。Jネット「ふるさと越後大使」は引き続き募っています。申し込みをお待ちします。

申し込み先 Jネット事務局

(上越市役所企画部企画課)